

令和7年度 事業報告

～心とこころ 人とひととのつながり～

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

■ 事業報告概要

1~6

■ 事業報告

No	項目	ページ
1	法人会務の運営	7
	1) 理事会	7
	2) 評議員会	7
	3) 監査会	7
2	会費、寄付金及び共同募金	7
	1) 会費	7
	2) 寄付金	8
	3) 物品寄付	8
	4) 中津市共同募金委員会への協力	8
	5) 中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）	8
3	住民主体による小地域ネットワークの推進	8
	1) 寄り合いの場支援	8
	2) ネットワーク構築支援	9
	3) 各種団体等助成金	9
4	相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実	9
	1) 障がい者福祉サービス事業	9
	2) 移動支援事業	10
	3) 障がい児（者）余暇活動支援事業（てくてく）	10
	4) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音）	10
	5) 障がい者等生活環境整備事業	10
	6) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業	10
	7) 福祉用具貸出事業	10
	8) 福祉啓発イベント	10
	9) 介護保険事業	11
	(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームやすらぎ荘）事業	11
	(2) 短期入所生活介護（特別養護老人ホームやすらぎ荘）事業	11
	(3) 訪問介護事業	11
	(4) 通所介護事業	11
	(5) 通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ）	11
	(6) 訪問入浴介護事業	11
	(7) 居宅介護支援事業	11
	10) 高齢者生活福祉センター事業	11
	11) 老人福祉施設 養護老人ホーム運営事業	11
	12) 地域包括支援センター事業	12
	(1) 包括的支援事業	12
	(2) 介護予防事業普及啓発事業	12
	(3) 各種調査業務	12
	(4) 介護予防支援（計画作成）業務	12
	(5) 在宅医療・介護連携推進事業	12
	(6) 「元気！いきいき☆週一体操教室」立ち上げ継続支援事業	12
	(7) 第9期介護保険事業計画に関するアンケート調査	12
	13) 認知症地域支援推進事業	12
	(1) 人員配置	12
	(2) 会議・研修会参加	12
	(3) 認知症支援、普及啓発に関する各種取組	12
	14) 生活福祉資金貸付事業	13
	(1) 生活福祉資金貸付	13
	(2) 特例貸付見守り支援・フォローアップ支援	13

No	項目	ページ
	15) 生活困窮者自立促進支援事業	13
	(1) 家計改善支援事業	13
	(2) 就労準備支援事業	13
	(3) 社会資源等研究開発事業	14
	(4) ひきこもり支援事業	14
	(5) シェルター事業（一時生活支援事業）	14
	(6) 支援調整会議	14
	(7) その他の支援事業	14
	16) 重層的支援体制整備事業	14
	(1) 自立相談支援事業	14
	(2) 多機関協働支援事業	14
	(3) 参加支援事業	15
	(4) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	15
	17) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）	15
	18) 成年後見事業	15
	(1) 市民後見推進事業	15
	(2) 法人後見事業	16
	(3) 成年後見支援センター事業（中核機関）	16
	19) 介護保険要認定調査事業	17
	20) 三光児童館事業	17
	21) 放課後児童クラブ事業	17
5	多様な人材による地域活動の推進	17
	1) 住民参加型有償サービス事業（社協型）	17
	2) 生活支援体制整備事業	17
	3) 中津市福祉の里づくりサポーター事業	19
	4) ファミリー・サポート・センター事業	19
6	福祉意識の高揚・啓発及び育成	19
	1) わいわい福祉ひろば事業	19
	2) 社協だよりの発行	19
	3) エリアの取組み	19
	(1) エリア広報紙（地域福祉情報紙）の発行	19
	(2) 各エリアの地域福祉の取組み	19
	(3) あんしん宅配事業（旧買い物支援事業：山国）	20
	4) 事業所広報紙・新聞	20
	5) ホームページ	20
7	法人組織体制の強化	20
	1) 職員配置状況（所属別）	20
	2) 法人内部における会議・委員会	21
	3) 職員全体及び階層別研修会	21
8	ボランティア・市民活動の相談、啓発、育成	21
	1) ボランティア・市民活動センター事業	21
	2) ボランティア情報紙の発行	22
	3) ぼらかふえの開催	22
	4) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座開催	22
9	その他社協事業	23
	1) 福祉バス運行事業	23
	2) 災害見舞金支給事業	23
	3) 施設等管理運営事業	23
10	各種共催・後援状況、視察受入、協力	23
	1) 行事の共催及び後援状況	23
	2) 視察の受入れ、協力状況	23

令和7年度 事業報告

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

事業 総 括

近年、少子高齢化による人口減少や過疎化の進行、核家族化に伴う一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、家庭内での見守りや介護機能の低下、また、価値観の多様化などを背景として、地域のつながりは希薄化し、様々な生活課題が顕著となっています。

こうした生活課題を受け、令和7年度は地域住民や地域の多様な主体が参画し、人とひと、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指すことを事業計画に掲げ、各種事業活動を実施しました。

今後も財務事務の効率化に努めるとともに、職員の採用活動や研修受講を促進し、組織体制の維持・強化を図ってまいります。また、複雑・複合化する福祉課題に対応するため、地域住民や関係機関、行政と緊密に連携・協働し、社協の使命である地域福祉の推進に取り組んでまいります。

なお、令和7年度に取り組んだ重点活動と各部署の活動に関しては以下の通りです。

総 務 課

(1) 持続可能な財政運営・経営基盤強化の推進

寄付金などの自主財源確保のための取り組みとして、ホームページやフェイスブック、広報紙等で随時更新を行い、社協の地域福祉活動への幅広い理解と協力を求めました。また、物価高騰等への対応として、業務委託の内容の見直しによる経費削減の取り組みや、介護保険事業における様々な経営努力により黒字化となりました。

今後も予測される最低賃金上昇や物価高騰等への対応を踏まえ、各種の補助金確保及び自主財源などの確保に向けた取り組みを行っていき、多様なニーズへの対応及び中山間地域のサービスを担っている社協としての使命を果たすべく、安定的な経営基盤の強化に努めていきます。

(2) 多様な手法による人材確保・情報発信の強化

今年度も全職員を対象とした管理職面談および人事評価を実施し、その結果を適切な人員配置や次年度の採用計画へ反映させました。

人材確保につきましては、ハローワークや広報誌(社協だより、エリアだより)、ホームページへの掲載に加え、ネット求人や職員紹介会社の活用することで、幅広い確保に努めました。

本年度は、本会全体で27名の新規採用(正規7名、嘱託2名、非常勤18名)を行いました。懸案であった「特別養護老人ホームやすらぎ荘」の人員不足については、新たに11名の介護職員を雇用しました。その際、特定技能実習生3名を計画的に採用したことで、安定した介護サービス提供体制の整備を図ることができました。

(3) ICT を活用した業務効率改善の推進

給与明細の電子交付やストレスチェックのオンライン化により、ペーパーレス化が進み、コスト削減と業務効率の改善を実現しました。また、デジタルデータによる一元管理は、情報漏えいリスクの低減にもつながっています。今後も ICT を活用した効率化の情報収集に努めるとともに、導入に際しては費用対効果を十分に検証し、各部署および組織全体の業務最適化に向けた調査研究を進めてまいります。

(4) 法人全体の BCP(事業継続計画)の策定による災害対応の強化

大規模災害発生時、本会は災害ボランティアセンターの設置・運営や義援金等の受付といった重要な役割を担います。そのため、災害時でも継続すべき業務や早期復旧が必要な業務の精査を、総務課および地域福祉課において進めてまいりました。今後は、法人全体の BCP 策定を軸に、運営面や人員体制、備品等の整備を強化いたします。これにより、組織機能への影響を最小限に抑え、必要な福祉サービスを継続または早期再開できる体制を構築し、近年多発する大規模災害に備えてまいります。

地域福祉課

(1) 連携・協働できる包括的支援体制の構築

包括的支援体制の基盤として、3つのネットワークについて具体的に整理をしました。まず、小学校区及び中学校区を圏域とした住民主体の「地域福祉ネットワーク」、次に市役所内各部署と社協による「支援連携会議」、3つめが福祉に関わる「民間法人のネットワーク」です。

最初の2つのネットワークは既に取り組んでいましたが、令和7年度は、前年度から準備を進めていた「民間法人のネットワークづくり」にポイントを置き、法人対象に重層的支援体制整備事業についての研修会を開催し、さらに連携を強めるため、社会資源についてのグループワークを行う会議を開催しました。この会議にて、今後、継続的に民間法人の多様性を活かしていく「彩りネットワーク会議(通称:彩ネット)」とすることが決まりました。令和8年度も多様な福祉課題に対応できる協働体制を構築していきます。

(2) 福祉ニーズに対する実態把握と社会資源の創設

各世代において「ひきこもり状態」となる要因として「不登校」があるという現状から、令和6年度末に行なった「不登校・ひきこもり支援実態調査」についての報告会を開催しました。市内の中学校や高等学校、通信制高校、主任児童委員、教育委員会、スクールソーシャルワーカー、こども家庭センター、保健所、医療関係者、親の会など、多様な方にご参加いただき、ネットワークと居場所の設置の必要性を協議しました。

また、特例貸付対象者への生活実態調査を開始し、対象となる800人中、約250人について、電話、訪問の他、相談会の開催など、アウトリーチ活動を行ない、生活状況に応じて必要な支援へのつなぎを行いました。相談会については令和8年度もより充実した形で開催していきます。

(3) 生きがいにつながる多様な参画機会の充実

社会的孤立を防ぎ、気軽に参加できる場として、南部地区地域支え合い推進員による「シニアほっと元気ステーション“よりあ”」や山国で始まった「あんしん宅配事業」では、移動困難な高齢者も社会とのつながりを持てるように、「訪問型」のサロンを開始しました。また、三光地区では、男性の社会参加の場として「おっちゃん'sくらぶ」を開催しました。

地域包括支援センターでは、介護予防に大きく寄与している週一体操教室の開拓に努め、令和7年度は新たに5ヶ所が開所し、担当する三光～山国地区で23ヶ所となり、市内で最も多い圏域となっています。今後も生活圏域での取り組みを主に、課題に応じた場づくりを実施・支援していきます。

(4) 地域福祉人財の育成

「住民主体の地域」に向けた基盤強化として、昨年11月に起こった佐賀関の火災をテーマに地域支え合いのあり方や、関係機関が地域とどのように協働していくのかを考える機会として地域住民、防災士、福祉専門職等を対象に研修会を開催しました。また、住民型有償サービス団体に対し、高齢者専門職とのつながりづくりはこれまでも実施してきましたが、精神的に不安定な人への対応では、障がい分野とのつながりも必要なことから、初めて障がい相談支援事業所との合同研修会を開催し、お互いを知る機会となりました。

権利擁護における「専門職向けの研修会」では、成年後見制度の今後の改正も含めた権利擁護への理解を深めていただく機会として、専門家による研修会を開催しました。

(5) 地域密着型の相談支援体制の強化

暮らしの総合相談窓口への新規相談件数は416件でした。物価高騰の影響から、収入や債務など家計に関する相談が最も多く、次いで障がいや認知症に伴う権利擁護支援に関する相談が多い状況となっています。その他、日常生活の中での病気や介護に関する不安や、社会とのつながりがなく、孤立によるひきこもりの相談も増えてきています。その人が暮らす地域で、安心して生活していけるには、多機関協働による支援の調整や社会とのつながりをつくるための参加の場へのつなぎ、そして地域への理解を求めるなど、「他人事にしない」を基本とした相談支援に努めました。

在 宅 福 祉 課

(1) 在宅サービスを継続的かつ安定的に行っていくための取り組み

中山間地域における在宅サービスの安定的な提供に向け、積極的な営業活動による事業推進と、不足する人材の確保に注力いたしました。主な実績は以下の通りです。

- ・ 「ふくしのお仕事相談会」を年2回(12月・3月)実施。
- ・ ケアプランセンター山国の担当地域を山国から耶馬溪まで拡大し、受入体制を強化。

また、サロンなどの地域の集まり等に職員が出向いて事業内容の広報活動を行うことで、顔の見える関係づくりを促進し、在宅サービスの経営改善にもつながりました。

(2) 良質な在宅サービスを提供するための働きやすい職場づくり

毎月開催の業務改善会議や随時開催している専門職部会において、「利用者の安心と笑顔」をテーマに検討を重ねました。具体的には、利用者満足度アンケートの結果を共有・分析することで、サービスの質的向上へと繋げました。また、年2回の主任会議を通じて情報の共有を図るとともに、職員がやりがいを持って働ける環境づくりを推進しました。事務の効率化やサービス内容のブラッシュアップを常に行い、働きやすい職場環境の構築に努めました。

(3) 災害時や感染症におけるBCP(業務継続計画)の運用

BCPは、不測の災害や感染症の発生時に事業を継続できるよう、対応策を平素から職員間で共有し備えるための計画です。令和7年度の災害対策としては、能登半島地震の被災施設研修に参加した職員による報告会を開催し、知見の共有を図りました。これを受け、各事業所において連絡訓練や備蓄品の確認を実施しました。

感染症対策においては、看護部会が中心となりPPE(個人防護具)の着脱や手洗いの指導動画を作成・活用し、現場での実践力を強化しました。併せてマニュアルの改訂を行い、感染症蔓延時の動線を整理することで、緊急時における対応の浸透を図りました。

福 祉 サ ー ビ ス 課

(1) 地域におけるこどもの居場所三光児童館及び子育て支援の推進

広報活動においては、Instagramを活用し、児童館や子育てひろばの様子のほか、児童館広報誌など情報発信を行っています。SNSを活用することで、事業の周知だけでなく、行事の予約状況や天候による急な変更をリアルタイムで提供することで、利用者の利便性を一段と向上させました。

地域子育て支援拠点として、毎週木曜日(長期休暇を除く)に、「子育てひろば」を開催し、年間で447人の方々にご利用いただきました。また、耶馬溪地区では月1回「ともだちひろば」を出張開催し、地域に根ざした子育て支援を行いました。

児童館の行事では関係部署に連携し、夏まつりのほか、地域の高齢者との昔遊び、本耶馬溪デイサービスやオレンジカフェ三光との交流会、介護予防教室、いきいきサロンへの参加など、世代間交流の機会を多く取り入れました。これらの取組みにより、子どもたちが地域の多様な世代とふれあう場を広げています。

(2) こどもの視点に立ち、こどもにとって安心して過ごせる放課後児童クラブの運営

安全管理面では、毎月の避難訓練の実施に加え、安全計画および危機管理マニュアルの適宜見直しを行い、児童の安全確保に徹底しました。特に、中津市より「警戒レベル3」以上の避難情報が発令された際の対応として、速やかな閉所判断と配信メールによる迅速な保護者連絡を運用しました。

組織運営においては、令和7年度より、各クラブ代表者による会議を新設し、法令遵守事項の徹底(コンプライアンス)や、業務の平準化を図ることで、事務負担の軽減と運営の質的向上を進めています。

児童支援員の資質向上については、市主催の「パワーアップワークショップ研修会」をはじめとする各種研修へ積極的に参加しました。また、小学校との連携会議を通じて、個別の支援方法や指導方針を共有し、学校とクラブが一体となったこどもの健全育成に努めました。

(3) 生活支援ハウス・ホームで、安全に安心して生活ができる支援の充実

今年度も包括支援センター等との緊密な連携により、新規相談件数が伸長し、その結果、年度末の入居者数は、山国生活支援ハウスが18名、耶馬溪生活支援ホームが9名となり、年間を通して入居率が向上しました。

感染予防対策として職員の手指消毒や検温、外泊後の健康観察を継続しながら、入居者の生活の質(QOL)向上にも注力しました。その中でも、レクリエーションの充実を図り、マイクロバスでの外出や定期的な買い物外出、移動販売の活用に加え、運動会や敬老会等の季節行事を開催し、安心感と楽しみのある生活環境を利用者に提供しました。

災害対応においては、6月の大雨や8月の台風に際し、別棟や関連施設への早期避難を迅速に実施しました。今後もBCP(業務継続計画)の適宜見直しを行い、有事の際も安定的かつ継続的にサービスを提供できるように体制整備と職員の意識向上に努めてまいります。

養護老人ホーム 中津市豊寿園

(1) 地域との“つながり”づくりに向けた取り組みの推進

地域とのつながりを深めるため、感染症対策を徹底した上で多岐にわたる活動を展開しました。地域行事への積極的参加や慰問の受け入れ、サロンへの参加を通じて地域住民との交流を促進しました。また鶴居小学校や児童養護施設聖ヨゼフ寮との交流では次世代とのつながりを育みました。

社会貢献活動も継続的に実施し、交通安全立哨や除草作業、道の駅なかつでの物販、防犯パトロール、募金活動等を通じて地域社会への貢献に力を入れました。特に募金活動では入所者の社会福祉への意識向上を図りました。

防災対策においては、県補助金を活用し、他施設や事業所との福祉施設合同訓練(BCP 合同訓練)を実施し、連携体制の強化を図るとともに、「防災キャンプ」や「地域防災交流もちつき大会」を開催し、児童養護施設、地域住民、近隣企業、福祉事業所が一体となる顔の見える関係づくりを推進しました。

(2) 地域生活における福祉的課題の発掘・支援を推進

潜在的な支援対象者の把握と関係機関との連携強化を目的に、市内地域包括支援センター(4箇所)や近隣自治体(12箇所)へ出向き養護老人ホーム中津市豊寿園の措置入所状況、短期入所事業、契約入所事業について積極的に説明・広報しました。その結果、緊急性の高い短期入所事業では7名の一時保護を実現し、また住居確保要配慮者向けの契約入所事業では11名の受け入れと空き居室の有効活用につながり、地域のニーズへの即応を両立させることができました。今後も関係機関との連携をより一層強化し、多様化するニーズに柔軟に対応できる体制を構築します。

(3) 職員の“人材”育成・人材確保及び入所者の“人材”育成

職員のスキルアップと質の高い支援を目指し、年間研修計画に基づく内部研修および外部研修への参加を積極的に推進しました。特に石川県輪島市の特別養護老人ホームへの視察研修では、被災施設における介護実習とBCP(事業継続計画)の実践を学びました。帰着後の視察報告会を通じて、全職員で自施設のマニュアルの課題を共有し、より効果的な支援体制の構築に着手しました。

また、ICTの活用や業務見直しによる効率化で、職員の負担軽減と職場環境の改善を図ることで、人材の定着に努めました。入所者の人材育成としては、入所者勉強会や座談会を開催し、集団生活における協調性や健康知識、施設規則の理解を深める機会を提供しました。

(4) 入所者活動の強化と社会貢献活動の推進

入所者の自立支援と社会貢献を重視し、“生きがい”活動を積極的に推進しました。個々の処遇計画は入所者本人や家族、関係者、職員が密に連携して作成し、一人ひとりに寄り添った支援を展開しました。令和7年度からは、(株)マルトモ物産より乾燥椎茸の足切り作業を受注し、就労支援として経済的課題のある入所者6名に賃金を得る喜びを提供しました。

また、入所者の社会貢献活動をパンフレットに掲載し広報活動の際に積極的に発信したほか、県老協大会での発表を通じて周知を図り、入所者の意欲向上に繋げました。地域社会とのつながりを深め、入所者の充実した生活が送れるよう支援しました。

中津市特別養護老人ホーム やすらぎ荘

(1) 健全で安定的な経営の推進

令和7年度の施設稼働状況は、平成21年中津市から社協が指定管理を受けて以降、本入荘およびショート利用者が過去最高の数値となりました(本入所 97.6%・短期入所 81.3%)。主な要因として、積極的な広報活動や居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)との良好な連携体制の構築、ならびにサービスの質の向上と考えています。その結果、収入面では前年度比で約4,300万円の増収となりました。

一方、支出の状況は、物価高騰により諸経費が増大しました。特に電気料、灯油代、オムツ代、クリーニング料などが上昇していますが、職員のコスト意識が着実に浸透し、無駄を無くして効率化を図る考え方が出てきたと思われまます。

(2) 感染症・食中毒予防及び入所者・職員の健康管理の推進

令和7年度においても、感染症や食中毒予防への取り組みを強化してまいりました。新型コロナウイルス感染症につきましては感染者が確認されましたが、施設内の大きな拡大は未然に防ぐことが出来、入所者・職員ともに重症化するに至りませんでした。また、入所者においては入院率(1.4%)が今までで最も低く病態悪化や事故等の未然防止に取り組めた結果と考えています。

(3) 地域とのつながりを推進し開かれた施設を目指す

新型コロナウイルス感染症の流行以降、地域との関わりや交流活動が少しずつ増えてきました。施設内行事においては、居酒屋「和」や敬老お楽しみ会、各種レクリエーションを開催しました。また、下郷保育所との交流活動や多方面からの慰問も積極的に受け入れ、地域に開かれた施設運営を推進することができました。

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催。
提案された議案については、原案通りすべて承認。

1) 理事会

第1回 令和7年6月6日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 11名 欠席 5名 監事出席 2名
- 第1号議案 令和6年度事業報告について
- 第2号議案 令和6年度決算報告について(監査報告)
- 第3号議案 令和7年度第1次補正予算について
- 第4号議案 役員候補者の推薦について
- 第5号議案 評議員候補者の推薦について
- 第6号議案 評議員会の招集について
- 報告 職務執行報告について

第2回 令和7年6月24日(火) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 14名 欠席 2名 監事出席 2名
- 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選任について

第3回 令和7年10月31日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 14名 欠席 2名 監事出席 2名
- 第1号議案 令和7年度第2次補正予算について
- 第2号議案 就業規則の変更等について
- 第3号議案 評議員会の招集について
- 報告 職務執行報告について

第4回 令和8年3月11日(水) 13時50分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 15名 欠席 1名 監事出席 1名
- 第1号議案 令和7年度第3次補正予算について
- 第2号議案 令和8年度事業計画について
- 第3号議案 令和8年度当初予算について
- 第4号議案 規程の変更及び追加について
- 第5号議案 理事候補者の推薦について
- 第6号議案 評議員候補者の推薦について
- 第7号議案 評議員選任・解任委員会委員の推薦について
- 第8号議案 役員等賠償責任保険契約について
- 第9号議案 評議員会の招集について
- 報告 職務執行報告について

2) 評議員会

第1回 令和7年6月24日(火) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 23名 欠席 9名 監事出席 2名
- 第1号議案 令和6年度事業報告について
- 第2号議案 令和6年度決算報告について(監査報告)
- 第3号議案 令和7年度第1次補正予算について
- 第4号議案 役員の選任について

第2回 令和7年11月11日(火) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 25名 欠席 6名 監事出席 1名 欠席 1名
- 第1号議案 令和7年度第2次補正予算について

第3回 令和8年3月25日(水) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール

- 出席 23名 欠席 8名 監事出席 1名 欠席 1名
- 第1号議案 令和7年度第3次補正予算について
- 第2号議案 令和8年度事業計画について
- 第3号議案 令和8年度当初予算について
- 第4号議案 理事の選任について

3) 監査会

令和7年5月20日(火) 9時00分 場所 中津市教育福祉センター中会議室A・B
結果: 事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

1) 会費(会員)

一般会費 3,969 口 1,983,500 円
特別会費 108 口 540,000 円
合計 4,077 口 2,523,500 円

地区	一般会費		特別会費	
中津	—	—	108 口	540,000 円
三光	1,390 口	695,000 円	0 口	0 円
本耶馬溪	838 口	419,000 円	0 口	0 円
耶馬溪	1,096 口	547,000 円	0 口	0 円
山国	645 口	322,500 円	0 口	0 円
計	3,969 口	1,983,500 円	108 口	540,000 円

2) 寄付金

香典返し	166 件	5,545,000 円
一般寄附	62 件	1,810,306 円
合計	228 件	7,355,306 円

地区	香典返し		一般寄附	
中津	66 件	2,075,000 円	46 件	1,392,267 円
三光	18 件	500,000 円	3 件	57,184 円
本耶馬溪	18 件	570,000 円	6 件	321,461 円
耶馬溪	38 件	1,540,000 円	0 件	0 円
山国	26 件	860,000 円	7 件	39,394 円
計	166 件	5,545,000 円	62 件	1,810,306 円

3) 物品寄付

ギフトカード (黄色いレシートキャンペーン)	2 件	21,300 円
マッサージチェア	1 台	30,000 円
その他	5 件	0 円

物品寄付額 (相当額) 51,300 円

4) 中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金	17,771 件	7,614,790 円
歳末たすけあい募金	18,328 件	5,646,979 円
合計	36,099 件	13,261,769 円

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	17,763 件	7,459,170 円	17,790 件	3,195,450 円
街頭募金	1 件	1,904 円	1 件	3,000 円
法人募金	0 件	0 円	502 件	1,915,086 円
職域募金	6 件	153,052 円	2 件	166,551 円
イベント募金	0 件	0 円	2 件	4,602 円
その他募金	0 件	0 円	31 件	362,290 円
預金利息	1 件	664 円	0 件	0 円
計	17,771 件	7,614,790 円	18,328 件	5,646,979 円

[戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	13,879 件	5,822,360 円	13,895 件	2,491,980 円
三光	1,391 件	584,220 円	1,395 件	251,100 円
本耶馬溪	819 件	343,840 円	826 件	148,620 円
耶馬溪	1,081 件	454,230 円	1,081 件	194,670 円
山国	593 件	254,520 円	593 件	109,080 円
計	17,763 件	7,459,170 円	17,790 件	3,195,450 円

- ・大分グルメ散歩募金：24,404円、自動販売機手数料：5,173円、銀行利息：623円。
- ・期間外募金：46,883円。(令和8年度計上)

5) 中津市共同募金委員会への協力 (災害義援金)

・佐賀関火災義援金	393,981 円
・能登半島地震災害義援金	324,198 円
・大船渡市林野火災災害義援金	26,721 円
・トカラ近海地震義援金	2,453 円
・R7年台風8号に伴う災害(沖縄)義援金	1,513 円
・R7年台風12号に伴う災害(鹿児島)義援金	902 円
・豪雨災害(熊本県)義援金	15,016 円
・豪雨災害(鹿児島県)義援金	4,855 円
合計	769,639 円

3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

1) 寄り合いの場支援

住民が主体的に、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている場づくりを支援

中津市全体	78カ所	寄り合いの場の種類・説明	
内訳	地域サロン	6カ所	地域の中の民家や空き家等を活用して主体的な拠点を整備し、開催回数も週1～2回で、日常生活に密着した寄り合いの場
	広域型サロン	6カ所	小・中学校区の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
	いきいきサロン	66カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、月1回程度住民同士の交流の場として実施

※R7年度 新規寄り合いの場：跡田元気か〜い

2) ネットワーク構築支援

○ 地域福祉ネットワーク協議会の組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

	校区 地区	組織名称 (校区ネット)	発足 年月	定例会	事務局 会議等	令和7年度の主な動き	助 成 金
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	H18.10月 ↓ H24.4月	年3回	毎月1回	・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携	○
2	北部	北部地域福祉ネットワーク協議会 (3つの「わ」ネット)	R4.3月	年4回	毎月1回	・情報誌の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・グループ活動の推進 (交流行事の開催)	○
3	小楠	小楠校区地域福祉ネットワーク協議会「OGUSU 友愛 2017」	H29.12月	年4回	毎月1回	・情報誌の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・部会長会議の開催・部会活動の推進 ・外国人との交流イベント開催	○
4	豊田	「生き活き・豊田」	H22.12月	年3回	年6回	・総会の開催・遊びの広場 (交流行事) の開催※公民館と共催	○
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会	H18.9月 ↓ H21.4月	年3回	毎月1回	・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・防災に関する研修会開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携	○
6	今津	今津地区地域福祉ネットワーク協議会	R7.4月	年12回	毎月1回 (兼定例会)	・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・盆踊りなど地域での交流行事の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携	○
7	三光	ふくしの里“ややま”	H31.3月	年2回	毎月1回	・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・部会活動の推進・終活に関する研修会の開催	○
8	山国	源流の郷やまくに福祉の会	H22.10月	年1回	年2回	・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・住民参加による「住みやすいまち山国」をテーマに研修会の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携	○

○ 見守りネットワークの組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

	校区 地区	名称	発足開始 年月	全体会	見守りネットワーク数	令和7年度の主な動き	助 成 金
1	本耶馬溪	本耶馬溪町ふれ愛ネットワーク	H6.5月	随時	17カ所 (自治区単位で構成)	・役員会の開催 (3月、9月) ・推進会議の開催 (5月) ・合同研修会の開催 (11月)	○
2	耶馬溪	耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会	H23.5月	随時	12カ所 (77自治区を12団体で構成)	・役員会の開催 (6月、1月) ・地区全体の推進会議の開催 (7月、3月)	○
3	山国	山国地区見守りネットワーク	R2.4月	無	6カ所 ※自治区で協議の上、団体を構成	・現在、6団体が活動 (宇曾元・大勢見守りネットワーク 見守りネットワーク「HARUDA」 くさもと見守りネットワーク 肥前屋見守りネットワーク 見守りネットワークFUJINOKI 見守りネットワークこやがわ)	○

3) 各種団体等助成金

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成

区 分	件数	助成額	助 成 内 容
小地域福祉活動助成 (市)	35 件	1,680,000 円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
小地域福祉活動助成 (社協会費)	29 件	609,700 円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成 (市)	8 件	611,000 円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成 (歳末)	8 件	330,000 円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成
地域介護予防活動支援費助成 (市)	6 件	203,000 円	介護予防につながる「交流」「食事」等の機会を継続的に実施している住民主体の活動 (寄り合いの場) への助成
ボランティア活動助成 (共募)	45 件	1,324,000 円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
ボランティア推進校助成 (共募)	12 件	360,000 円	小中高等学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
寄り合いの場活動助成 (共募・共募)	73 件	983,000 円	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への活動助成
新規立ち上げ活動助成 (歳末)	1 件	30,000 円	地域の寄り合いの場や地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
寄り合いの場活動助成 (社協会費)	52 件	1,692,000 円	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への活動助成 (三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国)
住民型有償サービス活動助成 (共募・歳末)	11 件	1,264,000 円	住民主体の在宅福祉サービス (家事援助・身体介護等) 団体への活動助成
子ども食堂活動助成 (歳末)	7 件	205,212 円	住民主体の子ども食堂への活動助成
一般公募助成 (共募)	6 件	765,000 円	高齢者・障がい者 (児)・子ども・防災など事業への助成 (1団体上限 34万円)
公民館助成 (寄付金)	14 件	210,000 円	校区 (地区) 公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成 (寄付金)	15 件	1,020,192 円	共同募金 (企業募金) 実績に基づき助成
自治委員活動助成 (寄付金)	15 件	1,677,077 円	共同募金と歳末たすけあい募金 (戸別) 実績に基づき助成
合 計	337 件	12,964,181 円	

4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービス及び訪問入浴サービスを実施

- ① 居宅介護事業 (家事援助)
 実利用者数 延利用回数 延活動時間数 (障害区分: 身体1名、精神2名、知的1名)
- ② 居宅介護事業 (通院等介助)
 実利用者数 延利用回数 延活動時間数 (障害区分: 精神1名、身体2名)
- ③ 同行援護事業
 実利用者数 延利用回数 延活動時間数 (障害区分: 精神1名、身体1名)
- ④ 障がい児・者訪問入浴サービス事業 (中津市内で一事業所のみ) (市受託事業)
 実利用者数 延利用回数

2) 移動支援事業

① 自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス（市受託事業）

実利用者数 6名 延利用回数 131回 延活動時間数 330時間 （障害区分：身体4名、知的2名）

3) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく) (市受託事業)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業。

①-1 実施状況

開催回数	実利用者数	専任職員
12回	31名	3名

※令和7年度新規利用者 1名

①-2 通常開催詳細(延べ)

利用者数	きょうだい児	保護者	ボランティア
112名	48名	73名	13名

①-3 てくカフェ(親同士の交流の場)

開催回数	延参加者数
2回	9名

② Summer てくてく実施状況(夏休み中の臨時開催)

開催回数	利用者数	きょうだい児	保護者	ボランティア
2回	20名	13名	13名	1名

4) 障がい者ミニデイ支援(鈴の音)

障がいのある方とボランティアがお互いを理解し尊重しながら、共に地域の住民として交流できる場を当事者主体を前提にボランティアと共に運営。当事者の意志を最も重要とし、障がいのある方自身の自立と自主性の支援を目的に開催。

開催日	開催回数	利用者数		ボランティア数		内 容
		実数	延べ数	実数	延べ数	
第3水曜	11回	7名	60名	10名	86名	野外研修、防災や詐欺防止講習、健康体操、楽器演奏、ふくしまつりへの参加など

5) 障がい者等生活環境整備事業

住環境により福祉サービスを利用できない等社会生活に支障が出ている障がいのある人やその世帯に対する片付け支援事業。

支援件数	利用世帯人員	地区	支 援 内 容
3件	① 1人	① 小楠	① 相談支援事業所と事前訪問、支援者会議、片付け(本人入院により途中で終了) ② 市と事前訪問、支援者会議、片付け ③ 事前訪問・調整後、支援前にご本人がご逝去
	② 2人	② 如水	
	③ 1人	③ 豊田	

6) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきりの高齢者を抱えている世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品(介護用品)を贈呈。

(校区)

南部	北部	豊田	沖代	小楠	鶴居	大幡	如水	三保	和田	今津	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
11件	7件	5件	10件	5件	16件	8件	0件	0件	0件	12件	16件	4件	6件	1件	101件

7) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

・貸出総数	144台
・保有台数	152台
※内廃棄数	3台

貸出対応件数

中津	16件
三光	4件
本耶馬溪	3件
耶馬溪	9件
山国	4件
計	36件

【車椅子】

・貸出総数	101台
・保有台数	130台
※内廃棄数	6台

貸出対応件数

中津	125件
三光	18件
本耶馬溪	8件
耶馬溪	7件
山国	7件
計	165件

8) 福祉啓発イベント

～こころ豊かに こころ育てる～

令和4年度より「シン・みんなのふくしまつり」と題し、子どもから高齢の方まで、どなたでも楽しめる祭りとなるよう、地域の方々にも多数参加いただき開催。

イベント名	開催日	参加者数	内 容
シン・みんなのふくしまつり 「つなぐ100年つながる笑顔」	11月9日	約900名	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和を感じるコーナーとして、昭和100年中津の歴史展など ・遊びコーナーでは木の積み木、インクルーシブゲーム、ミニ縁日 ・つくるコーナーではオリジナルバッグ製作、東九州龍谷高校による「手づくりお弁当」 ・ゲストとして豊陽中学校吹奏楽部・榎木レンジャー・蛸瀬神楽等による演出 ・その他、バザーや男塾珈琲、キッチンカー、フードドライブ、制服バンク R7年度は、公募にしたことで多くの団体や法人の参加を得られた

9) 介護保険事業

(1) 介護老人福祉施設事業 (中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘)

65歳以上で身体や精神上の障がいのため常時介護を必要とし、在宅での介護が困難な人が対象の事業。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアを提供

(本入所) 定員 80名

サービス実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		80名	80名	81名	81名	81名	81名	82名	80名	81名	80名	81名	80名
延べ人数		2,330名	2,461名	2,365名	2,440名	2,332名	2,313名	2,402名	2,374名	2,406名	2,418名	2,203名	2,479名	28,523名

(2) 短期入所生活介護事業 (中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘)

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために短期間の施設利用。食事や入浴、排せつなど日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどを提供

(短期入所) 定員 20名

サービス実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		35名	32名	31名	35名	33名	32名	31名	28名	31名	28名	26名	27名
延べ人数		517名	487名	487名	500名	501名	534名	490名	456名	519名	517名	439名	492名	5,939名

(3) 訪問介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数 130名 延利用回数 7,441回

(4) 通所介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施。

(通常型) 延開設日数 918日/年 延利用人数 19,690名 平均利用者数 21.4名

本耶馬溪	306日	本耶馬溪	6,676名	本耶馬溪	21.8名
耶馬溪	306日	耶馬溪	7,294名	耶馬溪	23.8名
山国	306日	山国	5,720名	山国	18.7名

(5) 通所型サービスA (生きがい元気アップクラブ)

サービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施。

(緩和型) 開設日数 249日/年 延利用人数 1,583名 平均利用者数 6.4名

(6) 訪問入浴介護事業

要支援者に対して、訪問入浴サービスを実施(社協のみ)。

実利用者数 15名 延利用回数 557回

(7) 居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 5,119件/年

本耶馬溪	3,506件
山国	1,613件

10) 高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

○入居者数(内ショート利用者)

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
耶馬溪生活支援ホーム	10名	10名	10名	9名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	9名	—
延べ利用者数	290名	310名	287名	279名	307名	300名	310名	300名	310名	310名	263名	279名	3,545名
山国生活支援ハウス	18名	18名	18名	18名	18名	19名	19名	18名	18名	19名	18名	18名	—
延べ利用者数	480名	509名	502名	538名	532名	525名	531名	515名	558名	589名	521名	558名	6,358名

11) 老人福祉施設 養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業 (養護老人ホーム中津市豊寿園)

経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設。

地域福祉を推進する社協として地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進。

年間在所状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	日数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
入所者実数		37名	37名	35名	37名	37名	35名	35名	35名	35名	35名	34名	36名	428名	
延べ人数		1,105名	1,059名	1,050名	1,120名	1,112名	1,080名	1,116名	1,080名	1,116名	1,078名	966名	1,036名	12,918名	
年間異動状況	新規	他施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		医療機関	-	-	-	1名	-	-	-	-	-	1名	-	1名	3名
		在宅	-	-	-	1名	-	-	-	-	-	-	-	2名	3名
		その他	-	1名	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1名
	退所	社会復帰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		家庭復帰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1名	1名	-	2名
		医療機関	-	-	-	-	-	-	-	-	1名	-	-	1名	2名
		他施設	1名	-	-	-	2名	-	-	-	-	-	-	-	3名
		死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1名	1名
		その他	-	2名	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2名
入退院(外泊)	入院(外泊)	0名	2名	4名	3名	2名	5名	1名	0名	1名	0名	3名	3名	24名	
	退院(外泊)	0名	1名	3名	4名	2名	4名	0名	2名	1名	0名	0名	1名	18名	

12) 地域包括支援センター事業

令和5年10月から、事業の主たる拠点を本耶馬溪（市本耶馬溪支所）に変更し、三光から山国のエリアを担当している。

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるような相談に応じる。

相談件数	1,459 件
------	---------

② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う。

対応件数	14 件
------	------

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・包括的・継続的なケア体制の構築	12 回
・地域における介護支援専門員のネットワークの活用	3 回
・日常的個別指導・相談	7 回
・支援困難事例等への指導・助言	1 回
合計	23 回

(2) 介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

① 介護予防に関する講話、講演会、相談会

実施回数	16 回
参加者数	242 名

② 個別対応による普及啓発

実施回数	83 回
人数	167 名

(3) 各種調査業務

① 「食」の自立支援事業実態調査 調査件数

17 件

② 住宅改修理由書作成

6 件

③ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談

2 件

④ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談

0 件

(4) 介護予防支援（計画作成）業務

要支援1.2 事業対象者の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

相談件数	4,738 件
作成件数	2,112 件

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

① 相談件数（分類）

全件数	内 訳
116 件	医療 72件、介護 2件、住民 34件、行政 8件

② 会議等への参加

在宅医療・介護連携推進協議会	普及啓発ワーキング	センター・サブセンター連絡会
1 回	2 回	5 回

(6) 「元気！いきいき☆週一体操教室」立ち上げ継続支援事業

立ち上げに関する相談支援	立ち上げに関わった組織数	パンフレット等の配布
35 回	5ヶ所	144 人

(7) 第9期介護保険事業計画に関するアンケート調査（3年に一度）

実態調査	21 件
ニーズ調査	102 件

13) 認知症地域支援推進事業

平成27年度からの委託事業。地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

(1) 人員配置

・認知症地域支援推進員 1 名 ・嘱託医 1 名 ・オレンジコーディネーター 1 名

(2) 会議・研修会参加

1. 認知症地域支援推進員等連絡会議（県主催）	4 回
2. 物忘れ対応支援チーム員会議	12 回
3. 認知症初期集中支援チーム検討委員会	1 回
4. 認知症の人と家族の会中津支部集い	11 回

(3) 認知症支援、普及啓発に関する各種取組み

① 普及啓発活動

・広く住民に対する理解促進

項 目	回数	参加者数	説 明
1. 認知症サポーター養成講座	3 回	37 名	実施場所：①イオン三光(12名) ②中津南高校耶馬溪校(7名) ③山国中学校(18名)
2. 認知症講演会	3 回	127 名	実施内容：①認知症ピアサポート講演会(60名) ②認知症終活講座(37名) ③認知症講座～生活習慣と食～(18名)
3. 認知症講話	3 回	30 名	実施場所：①三光成恒地区(11名) ②三光上深水(14名) ③耶馬溪生きがい元気アップクラブ(5名)
4. 世界アルツハイマー月間活動	1 回	-	ゆめタウン中津にて、リーフレットの配布。

② SOS声かけ模擬訓練

項目	開催日・場所	参加者数
SOS声かけ搜索模擬訓練	令和7年12月4日(木) イオン三光	34名

③ オレンジカフェ

・認知症の方、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
開催回数	3回	3回	4回	3回	13回
参加者数(延べ)	82名	55名	71名	55名	263名

④ ストリートオレンジカフェみなど

認知症の当事者やその家族、関心のある方に加え、移動手段がなく外出機会が少ない方々のもとへ出向いて相談に応じることで、不安の解消や気分転換の機会を創出する。また、特定の場所に捉われず、柔軟に開催できる仕組み。

開催場所	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
実施箇所(延べ)	2ヶ所	1ヶ所	6ヶ所	2ヶ所	11ヶ所
参加者数(延べ)	20名	22名	82名	45名	169名

⑤ 認知症家族介護者の集い

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。

開催回数	1回
参加人数	1人

⑥ 認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め、地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

参加対象者：三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等

開催回数	0回	令和7年度より認知症講演会と統合して開催
参加人数	0人	

14) 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と相談等を行う事業。生活資金が必要な方が多く、緊急小口資金の申請が多くなる傾向です。令和4年9月末をもってコロナ特例貸付は終了。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
1. 総合支援資金	生活支援費	3件	0件	0件	0円
	住居入居費	0件	0件	0件	0円
	一時生活再建費	0件	0件	0件	0円
2. 福祉資金	福祉費	66件	14件	13件	2,576,000円
	緊急小口資金	215件	40件	34件	2,965,000円
3. 教育支援資金	教育支援費	13件	3件	2件	968,000円
	就学支度費	20件	5件	4件	769,000円
4. 不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1件	0件	0件	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1件	0件	0件	0円
5. 臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0円
合計		319件	62件	53件	7,278,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

(2) 特例貸付見守り支援・フォローアップ支援

・新型コロナ流行下に特例貸付を利用した方800名のうち250名に対して、生活再建に向けた支援を実施。
 ・見守り支援は、償還を猶予している者が対象として、猶予中の支援を実施。
 ・フォローアップ支援については、償還免除者、償還中、未応答者(未償還)に対して、コロナ後の生活実態調査を行い、プッシュ型支援を実施。コロナ貸付利用後も相談しやすい社協として令和8年2月27日「くらしの総合相談会」を実施。
 ・支援期間は、令和7年から令和17年の10年間を計画しており、年齢や償還状況を年度ごとに分けて実施。

見守り支援件数	41件
フォローアップ支援(免除者)	125件
フォローアップ支援(償還中)	86件
フォローアップ支援(未応答者)	32件

くらしの総合相談会	案内送付数	715名	・特例貸付を利用した対象者に、電話やSMS等を利用し案内を発送。 ・コロナ後も孤立しない相談支援のため相談会を開催。
	相談対応	14名	

15) 生活困窮者自立促進支援事業

(1) 家計改善支援事業

家計のバランスに不具合が生じている方に対して、収支プラン・貸付幹旋表等、短期から中長期の計画表を相談者と作成し、生活の立て直しと自立に向けた家計作りを行う。

※特例貸付終了後、家計のバランスが取れなくなっていることで相談増。

相談支援者数	77名
プラン対象者数	3名

(2) 就労準備支援事業

就労への困難を抱えている方に対して、就労体験や就労訓練を行い、就労課題の解決を図る。また、中小企業家同友会や一般企業、ハローワーク、ジョブカフェ等との連携を図り、就労への一歩を踏み出すための取り組みを参加支援事業と組み合わせながら対応する。

対象者実人数	2名
プラン作成(再プラン含む)	2件
ハローワーク連携対象者数	10名

福祉のお仕事相談会	開催数	5回	本耶馬溪・耶馬溪・山国で福祉のお仕事相談会を実施。身近な相談窓口として認識してもらうため、『就労』をテーマに実施。
	相談対応	13名	

(3) 社会資源等研究開発事業

生活困窮者に対して不足している資源について調査・取り組みを実施。

①調査・研究

制服バンク検討のための調査	令和7年11月「シン・みんなのふくしまつり」にて、市内の高校の制服を受け付けるブースを設置し、4組の制服を受け付けました。今後、制服の取扱い等を検討。
---------------	---

②資源開発（フードバンクnicoの取り組み）

- フードドライブ…毎月25日に食品を受付
本所・各エリアと中津市環境政策課にて受付
他イオン三光・ゆめタウン・サンリブが協力
シン・みんなのふくしまつりにて実施

実施回数	寄付者数（延べ）	品数	重さ
60回	271名	5,287品	4,186kg

○nicoイベント（食事の提供）

実施回数	提供数	
1回	244食	12月) nicoキッチン…食事の提供（カレーライス他）

(4) ひきこもり支援事業

ひきこもり本人及びその家族に対する支援事業。家族支援や関係機関との連携により、つながる相談を実施。

①相談支援

相談件数 42件

対象者内訳	男性	女性	29歳以下	30代	40代	50代	60代以上	不明
	25名	17名	19名	6名	7名	7名		3名

②家族支援

・家族交流会開催

情報提供の場とご家族同士の居場所づくりとして開催

開催回数	参加者数	（内対象者数）
2回	20名	9名

③広報啓発

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等支援機関に対して、チラシ配布等の情報提供と連携。

(5) ① シェルター事業（一時生活支援事業）

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給付）

実施回数	36回
実人数	7名

②地域居住支援事業

住まいの困りごとについて、市内の居住支援法人と一緒に住まいの相談に対応する。また、中津市役所にて居住支援について連携会議を3回開催。（①R7.7.10 ②R7.10.30 ③R8.2.25）

連携相談件数
5件

(6) 支援調整会議

困窮事業プランの検討会議を随時開催。

市福祉政策係、生活保護係、障害福祉係等と社協で相談者の自立に向けてのプランについて協議する。

回数
9回

(7) その他の支援事業

① 備品貸出し

日常生活に必要な備品（カセットコンロ、炊飯器、電気ケトル、自転車等）の一時貸出

延べ回数	22回
実人数	12名

② 食糧支援

食料がない方への緊急的な食糧支援（米、インスタント食品等）

延べ回数	214回
実人数	150名

16) 重層的支援体制整備事業

包括的支援体制づくりに向けて、自立相談（総合相談受付）・多機関協働・参加支援・アウトリーチ等を通じた継続的支援・地域力強化の5事業を一体的に進める事業。※地域力強化推進事業については「地域福祉ネットワーク」「講座・研修会」の項で別掲

(1) 自立相談支援事業

何かしらの事情で生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を有する。相談件数は前年度より減少しているが、複合的な課題が増加。

暮らしの総合相談支援実績 416件

相談種別（ケースにより重複）

1. 病気、健康、障がい	2. 住まい	3. 家賃・ローンの支払	4. 収入・生活費	5. 税金や公共料金等の支払	6. 債務	7. 仕事探し、就職	8. 仕事上の不安やトラブル	9. 地域との関係	10. 家族・人間関係
16件	40件	126件	23件	57件	7件	24件	1件	6件	9件
11. 子育て	12. ひきこもり・不登校	13. DV・虐待	14. 介護	15. 権利擁護	16. 生活支援	17. 食べる物がない	18. その他	合計	
3件	16件	21件	1件	39件	18件	37件	95件	539件	

※その他については、不安の訴えや外国人相談、ホームレス等複合的な課題

(2) 多機関協働支援事業

複合的な課題を抱えた人や世帯の支援を行う際、多分野の関係機関との関係を作る調整の役割を担い、分野や年齢で隔たない包括的な支援体制構築を図る。

○行政・社協連携

1	支援連携会議	11回	-	市役所内の福祉以外にも含めた庁内連携を軸に、中津市における課題解決から社会資源創出、連携の幅を広げることを目的とする。また、社協や民間支援機関、地域とつながるための「核」となる会議体となっている。地域福祉計画の推進に関わるものとなっている。
2	重層的支援会議	3回	-	重層的支援体制整備事業に関わる事業に関するプランについて検討する会議。参加支援事業を利用するプランについて協議。
3	重層的支援体制整備事業研修会	1回	15名	2月10日、支援連携会議の参加者（行政職員）を対象に、重層的支援体制整備事業の制度理解、庁内連携等の学びを深め、相談・連携・協働による包括的支援体制づくりの推進を図るため、研修を行う。

○民間法人ネットワークづくり

1	重層的支援体制整備事業 研修会「地域デザイン研修会」	1回	63名	6月3日、令和6年度に社会福祉法人を対象に実施した「地域における公益的な取組」アンケート調査の報告を含めた中津市の現状や民間の連携ネットワークの構築の必要性について学ぶ。社会福祉法人職員、福祉関係NPO法人、行政、社協職員等が参加。
2	民間法人ネットワーク会議「彩ネット会議」	1回	52名	12月10日、中津市における地域課題や社会資源について学び合い、分野や立場を超えた「顔の見える関係づくり」を進めるとともに、民間団体・社会福祉法人を中心とした「なかつ彩りネットワーク」構築に向けた基盤づくりの第一歩として開催。
3	福助ネット会議	11回	-	複合的な課題を解決するために、多機関対応協働事業に位置付けている。毎月8回開催。参加者は、社協と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るコミュニティーソーシャルワーカー及びスクールソーシャルワーカー、医療関係者等となっている。情報共有を行い、相談者に対する効果的な支援を行うための会議。

○その他

1	相談支援連絡会での 事業説明	1回	-	10月20日中津市障がい者等基幹相談支援センター主催する相談支援連絡会の研修会にて、重層的支援体制整備事業の取り組みについて説明
---	-------------------	----	---	--

(3) 参加支援事業

① 社会参加促進として「就労支援」をテーマに取り組む。

就労支援アドバイザーと協力し、働きづらさを抱える多様な人への参加の機会を創出するため、企業の協力による就労体験のメニュー作りと相談支援を実施。

相談件数	16件
プラン対象	2名

② 『さんかく△ぶれいす』（就労相談窓口）の実施。

○ 就労等相談ステーションや多様なニーズにあわせた居場所づくりの一環として、合同会社「は・た・ら・け・る」の場所にて実施。

○ 耶馬溪・山国エリアにて就労のことや社会参加に関する窓口を設置

毎月第2（耶馬溪エリア）第3（山国エリア）水曜日 13:30～16:00

開所回数	57回
相談来所件数	9件
開所回数	16回
相談来所件数	13件

(4) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

① ぐらしの総合相談窓口等のチラシ配布による広報活動や関係機関への働きかけにより、必要な情報が届き相談につながる。

令和7年度より実績数のカウントを変更し、他機関からの紹介をカウント。

相談者数	209名
------	------

② 各地域の住民会議の場に参加し、困っている人が相談窓口につながるよう、制度の周知と情報共有、広報活動等を行う。サロン・民生委員会・見守りネットワーク会議等（事業説明、食糧配布支援等）

③ SOS発見につなぐ支援

○ フードパントリー・・・困窮世帯への食糧配布

4月:15世帯、7月:43世帯、12月:95世帯に配布する。3月は配達による生活状況の把握を主に実施。

6月及び10月は、本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアのみ52世帯に配布。

○ ギャンブル等依存症問題啓発週間にあわせ、ポスター掲示等住民向けに広報を行う

○ ひとり親家庭のための「社協ぐらしの総合相談窓口」出張版を開催（8/4、8/15）計2回

実施回数	3回
配布世帯数	181世帯

17) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援をする。

・年間の支援回数

2,236件

・新規相談受付件数

92件

・新規契約

33件

 ・解約者

23件

・契約者数（3/31現在）

165名

（内訳）

1	居住エリア別	中津	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	その他※1	合計
		112名	11名	15名	14名	5名	8名	
2	居住状況別	在宅		施設（GH含む）		病院		165名
		78名		73名		14名		
3	世帯経済状況別	生活保護世帯			生活保護以外			165名
		72名			93名			
4	年齢別	65歳以上		40～64歳		39歳未満		165名
		121名		31名		13名		
5	障がい種別	認知症等高齢者		知的障がい	精神障がい	その他※2		165名
		64名		29名	25名	47名		

※1…契約している方が大分・日田・宇佐・豊前の施設等に一時的に入所・入院

※2…障がい疑われる人

・生活支援員登録数

22名

18) 成年後見事業

(1) 市民後見推進事業

今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び、市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進（市受託事業）

①会議の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	3回	学識経験者・弁護士・司法書士・社会福祉士・行政等と家裁主任書記官（オブザーバー）で構成する事業推進の協議会（5/21、8/25、3/26）

②市民後見推進研修会の開催

成年後見制度の必要性や市民後見人に対する理解を深めていただくための研修会を開催。

開催回数	参加者数	内 容
1 回	56人	開催日時：令和7年12月7日（日）午後1時30分から午後3時30分 開催場所：教育福祉センター 多目的ホール 内容：①市民後見人啓発劇「和子さんと成年後見人」 作・出演 なかつ市民後見人の会らいとふる ②講演「成年後見人の仕事について」 講師 豊の国司法書士事務所 司法書士 浅野芽黄氏

③市民後見人養成講座の開催（隔年開催）

第7期生となる市民後見人養成講座の開催

実施期間	開催回数	受講者数	修了者数	内 容
	隔年開催のため 令和7年度は実施 なし			・市民後見人に必要な知識と実務を学ぶため、様々な専門職による講義と実務を学習、対人援助を学ぶための施設実習 ・補講により、修了が見込まれる場合は翌年度に補講を実施

④市民後見人候補者登録数（3/31現在）

47名

⑤市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人を対象に研修を開催。

登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

講 義	開催回数	参加者数	内 容
	4 回	93 名	・生活保護制度について・市民後見人による身上保護の重要性と財産管理 ・高齢者の体調や病状に応じた栄養について
実 務	開催回数	参加者数	内 容
	4 回	83 名	・先進地研修・事例検討・成年後見制度に関する書類作成について等

⑥市民後見人の会との連携・サポート

事業項目	回数	内 容
市民後見人の会 活動支援	15 回	・令和2年度に組織化された「市民後見人の会」に対し、必要に応じて助言や定例会への参加、会独自の勉強会への講師派遣等を行った。 ・役員会への出席7回、定例会への出席（講師派遣含む）8回

(2) 法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上保護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。（市受託事業）

事業項目	件数	内 容
1. 新規受任者数	3 件	後見：2件、保佐：1件、補助：0件
2. 後見業務	22 件	累計受任数は61件で、内訳として、被後見人等の死去59名、転居のため辞任1名、補助開始の審判の取消による終了1名である。 後見：11件、保佐：8件、補助：3件
3. 法人後見支援員登録者数	22 名	令和7年度市民後見人候補登録者47名。
4. 後見業務に携わる支援員数	13 名	法人後見支援員22名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。

(3) 成年後見支援センター事業（中核機関）

成年後見制度の利用促進のために、利用に向けての相談支援や地域や関係機関に対する制度啓発、さらに適切な制度利用に向けての調整役を担う。

①相談対応

権利擁護に関する相談件数	182 件	成年後見制度説明、申立てに関する事、家庭裁判所に関する事、日常生活自立支援事業に関する事、虐待に関する事、親亡き後の支援の事など
うち申立支援件数	32 件	

②会議の開催

会議名	開催回数	協議件数	内 容
1. 権利擁護支援方針検討会議	22 回	83 件	生活に課題を抱える対象者について、制度利用を含めて、今後の支援方針を検討する会議。対象者に直接関わる支援者で対象者の現状やこれまでの生活歴などを共有し、制度利用の必要性や時期、成年後見人等の候補者などについて協議。対象者の生活を見守る体制づくりも兼ねている。原則月1回開催だが、定例での開催以外に、既存の会議等も活用した。 ・権利擁護支援方針シートを整備し、十分なアセスメントを行った。 ・この場で制度利用が必要となった事案については、受任者調整会議に諮る。
2. 受任者調整会議	6 回	17 件	令和2年度末に策定された「中津市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき設置。原則2ヶ月に1回開催。市長申立てや本人・親族申立に関する事案などで受任者の調整が必要な事案について、専門職等で幅広く調整・協議。 構成委員：弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、施設職員、行政、社協（計9名）

③広報啓発

広報啓発件数	37 件	成年後見支援センターについて、どういう役割を担うところなのか、説明・周知を図ることを目的に、各種地域の会議や研修会等を活用して説明を行ったほか、既存の広報媒体（広報誌、ホームページ等）にて広報した。
--------	------	---

19) 介護保険要介護認定調査事業

要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅や施設へ訪問し、対象の方の心身の状況など調査。(市受託事業)

調査名	件数
新規	251 件
更新	1,841 件
変更	212 件
合計	2,304 件

20) 三光児童館事業

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊びや生活の援助と地域における子育て支援を行い、健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

① 開館日数 264 日 ①-1 児童館利用者数 8,401 名

内訳	就学前児童	430 名
	小学生	7,133 名
	中高生	259 名
	保護者・ボランティア	579 名

② 三光児童館運営協議会の開催

開催日	参加委員数	協議内容
令和7年10月21日	7 名	令和7年度活動報告(9月まで)
令和8年3月17日	8 名	令和7年度活動報告(10月以降)、令和8年度事業計画

③ 子育て支援拠点事業

	開催日数	参加者数	場所
子育てひろば	41 日	447 名	三光児童館内
ともだちひろば	11 日	34 名	耶馬溪公民館

④ 放課後児童対策子どもの居場所確保事業

児童館に専門スタッフを配置し、入退館の把握や見守りを行い、放課後のこどもの居場所を提供する事業

⑤ 広報活動

名称	発行月	月部数	備考
児童館だより	12 回	500 部	三光地区の小中学校と児童関係の施設、ホームページ(市・社協)
子育てひろばだより(三光)	11 回	50 部	市役所、市内の子育て支援拠点、ホームページ(市・社協)
ともだちひろばだより(山国・耶馬溪・本耶馬溪)	1 回	670 部	・未就園児家庭、ホームページ(市・社協) ・各支所告知放送

インスタグラムによる広報活動…投稿103回(児童館だよりの記事、子育てひろば・ともだちひろばの案内や活動報告)

21) 放課後児童クラブ事業

就労等で、日中保護者のいない小学校の児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。(市受託事業)

○開設日数 延1,331日

真坂	251 日
山口	289 日
秣	251 日
樋田	289 日
城井	251 日

○登録児童人数 84 名

真坂	23 名
山口	17 名
秣	17 名
樋田	18 名
城井	9 名

○延利用児童数 14,668 名

真坂	4,378 名
山口	3,059 名
秣	2,768 名
樋田	3,064 名
城井	1,399 名

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) 住民参加型有償サービス事業(社協型)

自助・公助の精神を基調としたボランティア意識を持つ地域住民と、定額有料(非営利)サービスを必要とする在宅の高齢者等が、お互いに助け合える地域社会の構築を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施。

① 社協運営登録者数

1. 協力会員 10 名 2. 利用会員 15 名 3. 延利用回数 271 回

2) 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者の生きがいづくりや介護予防の視点から、ニーズを的確に把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを推進する事業。(市受託事業)

① 生活支援コーディネーター設置

コーディネーター	人数
第1層生活支援コーディネーター	1 名

・地域を知る・地域への働きかけ

内容	第1層
いきいきサロン、地域サロン等へ参加し高齢者の実態把握	21 回
地域の会議・会合等、住民主体の話し合いの場	50 回
元気!いきいき☆週一体操への参加による実態把握	8 回

- ・資源開発
- ・ネットワーク構築に関すること（外部会議への参加）

中津市在宅医療介護連携推進協議会	○	※年度途中で終了
中津市在宅医療介護連携推進協議会 普及啓発ワーキング	○	
中津市在宅医療介護連携推進協議会 社会的処方ワーキング	○	
中央ケア会議	○	
C型ケア会議	○	

- ・協議体に関すること

「生活支援・介護予防を考える会」 ～移動・外出支援について～	3月16日	(内容) ・R7実施アンケート結果報告 ・地域振興広聴課より公共交通アクションプランについて ・日田市視察報告 ・グループワーク
-----------------------------------	-------	--

- ・その他

名 称	日 付	概 要
コーディネーターの自己研鑽の機会・学習会・内部会議等	通年	SC同士の情報交換会議、他部署が行なう会議への参加等
日田市視察研修	1月14日	移動支援の取り組みについて、市介護予防係、地域振興課と日田市役所にて研修
佐賀県社協にて中津市の取り組み紹介	3月13日	中津市の地域福祉活動とSCの取り組みについて説明

- ・他団体等が主催する催しへの参加・協力

主 催	名 称	日 付	概 要
大分県	第1回・第2回 生活支援コーディネーター連絡会	9/18, 1/20	県内のSCが集まるための研修と情報交換
いずみの園	認知症講演会（今津地区）	11月12日	いずみの園が毎年行っている捜索訓練前の研修会
社協（自立相談支援係）	彩りネット研修会	12月10日	多職種連携のための情報共有会議
大分県	生活衛生同業組合研修会	3月2日	様々な業種の人の地域派遣報告会

- ・各種講座・研修会・交流会の開催

No	講座・研修名	回数	参加者	開催時期	対象	概要
1	住民型有償サービス マネージャー研修	2回	51名	9月 3月	住民型有償 サービスマ ネージャー他	住民型有償サービス団体でマネージャーとして活動していくうえで必要な知識や情報共有を行う。 ①“聴く力”に焦点を当て、スタッフも参加可能とした 講師：mottoひょうご 栗木 剛氏 ②市内の相談支援事業所の方々と交流を主目的とし開催
2	支え合いスキル アップ塾	6回	延 103名	9月～ 12月	地域住民	地域における支え合い活動の発展や新たな仕組みづくりに関する人材の育成を目的として開催。 講師①mottoひょうご 栗木 剛氏 ②あおば介護相談センター 川野 里奈氏 ③中津レクリエーション協会 坂梨 希容子氏 ④いずみの園 尾崎 正史氏 ⑤NPO法人地域リハビリネットワークの会 村岡弘隆氏 (中津市市役所介護長寿課)

②第2層地域支え合い推進員の動き

地域支え合い推進員	人数
第2層	6名

【南部・豊田・沖代・鶴居（3月より）・今津（9月より）・山国】

- ・地域を知る・地域への働きかけ

いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握	○
地域の会議・会合等、住民主体の話し合いの場	○
元気！いきいき☆週一体操への参加による実態把握	○
その他（例：防災訓練、三世代交流、給食ボランティア 等）	○

- ・資源開発

地域のお宝の発掘・発見	○
住民が集う場の開催（主催・共催）	○

- ・ネットワーク構築に関すること

中央ケア会議への参加	○
C型ケア会議への参加	○
各包括主催の居宅連絡会への参加	○

- ・協議体に関すること

山国地区	高齢者見守り合同会議	○
------	------------	---

- ・ニーズに対するマッチング

個別の支援に関する相談受付	○
個別の支援に関する協議の場・会議への参加	○

- ・その他

SC（生活支援コーディネーター）カフェ 等	○
佐伯市弥生地区からの視察対応（南部地区）	○

- ・第2層地域支え合い推進員主催の「よりあ」・住民が集う場

地区	内 容	開催回数	参加者数	概 要
南部	小祝よりあ	3回	6名	高齢者の閉じこもり予防の“場”づくり
	南部4サロン交流会	1回	14名	南部地区にある4つのサロンの運営者やスタッフとの情報共有・発信に加え、モチベーションを上げることを目的に開催。
	南部つながり座談会	1回	18名	包括等福祉専門職と地域の福祉活動者（主に住民型有償サービス）との顔合わせ・情報交換の場として開催。お互いの取り組みの理解を深め、事例等も交え意見交換を行った。

地区	内 容	開催回数	参加者数	概 要
豊田	認知症講演会	2回	34名	ゆめタウン・豊田公民館にて認知症を病気ではなく、「ひと」に焦点を当てた内容で開催。 講師：nicoLabo 酒井 久美子氏
沖代	沖代よりあ	1回	8名	「家族の介護」をテーマに開催。気軽に話せる場づくり。
山国	山国よりあ	12回	延127名	「共食」をテーマに参加者と一緒に調理、会食を実施。
	遊びの学校	1回	41名	耶馬溪地区と合同開催。サロンお世話役のモチベーション維持とサロン活性化を目的としている。 講師：日田市レクリエーション協会 梶原 キヌ子氏
	やまくにふるさと祭り出演のための練習会	3回	-	地区内のサロンが集まりまつり当日へ向け練習を行うことでサロンの活性化につながった。

・その他の地区

耶馬溪	耶馬溪出張よりあ	1回	14名	耶馬溪地区のボランティア等お世話役の方が元気になる場づくり
-----	----------	----	-----	-------------------------------

3) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加地域貢献を通じた生きがいがづくりを目的として実施。(市受託事業)

サポーター登録者数	387名	(高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等)
受入登録施設・事業所数	101ヵ所	
サポーター延活動回数	4,421回	

中津市福祉の里づくりサポーター事業情報誌「ふくサポNo.10」発行 年1回 1,000部発行

4) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方(おねがい会員)と預かり等の援助を行う方(まかせて会員)との相互援助活動に関する相談援助・連絡調整を行う。(市受託事業)

おねがい会員登録者数	130名	活動件数	134件
まかせて会員登録者数	76名	活動延時間数	327.5時間
両方会員	1名	お見合い件数	35件
		相談件数	336件

会報発行No.10 4月 185部

会報発行No.11 3月 206部

令和7年11月26日：令和7年度まかせて会員養成講座開催 受講修了者 6名

6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

1) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者の理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【年度実績】

1. 実施小学校数	18校
2. 年間開催回数	57回
3. 受講者数 児童生徒	1,855人
4. 受講者数 保護者	85人

【コース別】

1. 聴覚コース	6回
2. 視覚コース	17回
3. 肢体コース	14回
4. エルダーコース	20回
合 計	57回

2) 社協だよりの発行

名 称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先	備 考
社協だより なかつ	3回	34,985部	市内全戸	7/1、10/1、2/1発行
社協だより なかつ(点字版)	3回	17部	市内視覚障がいの方	同上

3) エリアの取り組み

(1) エリア広報紙(地域福祉情報紙)の発行

地区	名 称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三 光	とんぼのめ	6回	1,950部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	6回	1,200部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいぶる	6回	1,500部	全戸、公共施設
山 国	かかし	6回	920部	全戸、公共施設

(2) 各エリアの地域福祉の取り組み

	取り組み	回数	参加者	開催時期	対 象	概 要
三 光	サロン交流会	1回	15名	12月	サロンお世話役	サロン計画のヒントとなるよう内容を紹介し、他のサロンの方と交流をすることで刺激を受け、さらなる盛り上がりを目指す開催。 (内容) ①大分県生活衛生指導センターの取り組み②今井学さんのプログラム紹介③ボラセンよりボランティア団体の紹介④おしゃべり会
	小地域ネットワーク会議	15回	112名	12月/1月/2月	サロンお世話役	・R8年度のいきいきサロン年間計画の検討 ・地域内での困りごと、気になる人などの情報共有

	取り組み	回数	参加者	開催時期	対象	概要
三光	四季を楽しむバスツアー	1回	17名	11月	下深水サロン参加者・近隣住民	令和5年度より始まった事業。路線バスが廃止となった地区を対象に、外出機会の減少による生活意欲の低下を予防し、サロン参加を含む人との交流機会の維持を目的として開催。 行先：耶馬溪方面にて紅葉、八面山荘にて昼食
	おっちゃん'sクラブ	1回	8名	2月	三光地区の男性	・自治区活動には男性の参加が多いが、地域のサロンなどへの参加は少ないため、地域福祉活動の参加へつながることを目的として開催。 ・内容：①簡単マフィンづくり(調理) ②大分県生活衛生指導センターよりコーヒの淹れ方の紹介及び実演
本耶馬溪	福祉ボランティア講座「遊びの学校」	1回	35名	9月	三光・本耶馬溪地区サロンお世話役	楽しみながら継続できる人材を発掘・養成することを目的として開催。「しゃべる」「頭を使う」「動く」ができ、貸出し用のレク用具としても整備されている「コミュニケーション麻雀」を実施。 講師：mottoひょうご 事務局長 栗木 剛氏
本耶馬溪	おでかけサロン買い物バスツアー	5回	72名	8月～12月	サロン利用者・サロン近隣住民	地区内のサロン(寄り合いの場)を拠点として、大型店舗等への買い物バスを運行し、サロンの活性化と地域課題の一つである「買い物」に対する支援を行い外出意欲の向上を目指す。
	サロン交流会	1回	22名	1月	サロン・週一体操お世話役	サロン同士の情報共有と交流の機会として開催。大川病院より認知症についての劇やサロン向け講座の広報。参加者同士の交流を促し、情報交換とモチベーションの維持を図る。
耶馬溪	耶馬溪サロン交流会	1回	11名	2月	サロンお世話役	サロン同士の情報交換と交流の機会として開催。交流を通じて情報交換とモチベーションの維持を図る。大分県生活衛生営業指導センターの御香氏を招き「サロンへの講師派遣事業」の紹介をしてもらう。
	買い物バスツアー	2回	31名	4月10月	城井地区サロン参加者・地域住民	耶馬溪地域福祉ネットワーク会議で実施したアンケートより、地域課題である「買い物不便」の解消に向けたモデル実施。中津市内の商業施設へ買い物へ行くとともに、事業に対するご意見をいただき、今後へつなげていく。
耶馬溪	福祉ボランティア講座「遊びの学校」	1回	41名	11月	サロンお世話役 福祉活動に興味のある方	楽しみながら地域で活動できる人材養成を目的に手作りレクリエーション講座を開催。(耶馬溪・山国合同) 講師：サロンサポート「やまびこ隊」 内容：道具なしですぐにできるレクリエーションやゲーム
山国	災害について学ぶボランティア講座 親子で体験!ぼうさい教室	1回	50名	8月	市内の小中学生と保護者	小学生と保護者を対象に、全国各地で多発している災害への防災意識の啓発を目的として開催。ロープワーク、非常時便利グッズづくり、避難所、車中泊体験等、様々なコーナーを親子で体験しながら、防災について楽しく学ぶ。
	山国いきいきサロンネットワーク会議	1回	40名	7月	主にサロン参加者	サロン同士の情報交換と交流の機会として開催。新行橋病院赤池祐司先生による腸活に関する講演会と参加者による意見交換会を実施。

(3) あんしん宅配事業(旧買い物支援事業：山国)

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等のうち、買い物に不便な方が登録し、利用者の依頼に対して買い物代行し、自宅に届ける事業だったが、地区内での移動販売等の拡充により買い物に対する課題が緩和された。そのため、買物支援に加え安否確認と交流を目的とした訪問活動を令和7年度より加えた。事業名を「あんしん宅配事業」に改め、地域住民で結成された「あんしん隊」が買物支援・訪問活動を行っている。

あんしん隊人数	4名
---------	----

・買物支援

1. 利用登録会員	13名
2. 実利用者数	9名
3. 買い物配達回数	76名
4. 買い物支援を行った販売金額	141,497円

・あんしん訪問(モデルケースとして3月より開始)

訪問件数(延)	36件
---------	-----

広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
1. やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
2. 豊寿園だより	3回	100部	施設入所者の家族と関係者
3. ウテリーだより	4回	80部	利用者の家族と公共の施設(山国地区)
4. なのはな便り	4回	80部	利用者の家族と公共の施設(耶馬溪地区)
5. ひなぎく	3回	80部	利用者の家族と公共の施設(本耶馬溪地区)

5) ホームページ

ホームページのリニューアルを行い、地域福祉に関する最新情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

7. 法人組織体制の強化

1) 職員配置状況(所属別)

① 所属別 令和8年3月31日現在 (単位：名)

名称	正規	嘱託	非常勤	再雇用	計
1. 総務課	11	3	0	2	16
2. 地域福祉課	30	6	32	0	68
3. 福祉サービス課	3	7	41	0	51
4. 在宅福祉課	26	19	54	2	101
5. 豊寿園	8	3	19	2	32
6. やすらぎ荘	43	3	34	1	81
計	121	41	180	7	349

② 拠点別

(単位：名)

名称	正規	嘱託	非常勤	再雇用	計
1. 中津市教育福祉センター	20	9	29	0	58
2. 養護老人ホーム豊寿園	8	3	19	2	32
3. 三光コミュニティセンター	8	4	3	2	17
4. 放課後児童クラブ (5か所)	0	0	16	0	16
5. 本耶馬溪総合福祉センター	7	7	12	0	26
6. 市本耶馬溪支所	15	1	0	2	18
7. 特別養護老人ホームやすらぎ荘	43	3	34	1	81
8. 市耶馬溪支所	7	2	22	0	31
9. 耶馬溪デイサービスセンター他	5	4	14	0	23
10. 耶馬溪生活支援ホーム	0	1	7	0	8
11. 山国社会福祉センター	4	1	2	0	7
12. 山国高齢者生活福祉センター	4	6	22	0	32
計	121	41	180	7	349

※兼任している職員は、主としている事業所に計上

2) 法人内部における会議・委員会

会議名	回数	所管
1 課長会議	22	総務課
2 エリア会議	60	総務課
3 係長会議	6	総務課
4 やすらぎ荘運営会議	12	やすらぎ荘
5 喀痰吸引委員会	12	やすらぎ荘
6 栄養管理委員会	10	やすらぎ荘
7 身体拘束未然防止委員会	4	やすらぎ荘
8 感染症防止委員会	3	やすらぎ荘
9 事故防止委員会	2	やすらぎ荘
10 褥瘡防止委員会	3	やすらぎ荘
11 介護サービス委員会	3	やすらぎ荘
12 やすらぎ荘ケア会議	12	やすらぎ荘
13 ノーリフティングケア委員会	2	やすらぎ荘
14 キャリアアップ委員会	0	やすらぎ荘
15 看取りケア委員会	0	やすらぎ荘
16 高齢者虐待防止、接遇委員会	2	やすらぎ荘
17 主任・副主任会議	11	やすらぎ荘
18 各介護グループ、医務室会議	7	やすらぎ荘
19 居宅介護支援部会	6	在宅福祉課
20 通所介護部会	9	在宅福祉課
21 通所相談員部会	2	在宅福祉課
22 通所看護職部会	6	在宅福祉課
23 通所介護職部会	3	在宅福祉課
24 通所機能訓練部会	4	在宅福祉課
25 通所調理職部会	3	在宅福祉課
26 在宅福祉課主任・副主任会議	2	在宅福祉課

会議名	回数	所管
27 高齢者虐待防止員会	5	在宅福祉課
28 感染症防止委員会	9	在宅福祉課
29 居住部会	2	福祉サービス課
30 献立委員会	12	豊寿園
31 感染対策委員会 (定例)	4	豊寿園
32 感染対策委員会 (コロナ・臨時)	5	豊寿園
33 事故防止対策委員会	12	豊寿園
34 身体拘束適正化委員会	4	豊寿園
35 職員会議	12	豊寿園
36 広報委員会	8	豊寿園
37 入所者対話の日	12	豊寿園
38 正職支援員会議	2	豊寿園
39 支援員会議	13	豊寿園
40 夜勤支援員会議	2	豊寿園
41 日勤支援員全体会議	1	豊寿園
42 虐待防止対策委員会	1	豊寿園
43 ケース会議	31	豊寿園
44 看護職員会議	10	豊寿園
45 まつり運営委員会	5	豊寿園
46 鶴居小学校交流運営委員会	5	豊寿園
47 忘年会運営委員会	3	豊寿園
48 事業計画・次年度年間行事計画会議	2	豊寿園
49 障がい者加算算定会議	1	豊寿園
50 B C P 合同訓練会議	4	豊寿園
51 地域防災教室(防災キャンプ)会議	3	豊寿園
52 地域防災交流もちつき大会会議	3	豊寿園

3) 職員全体及び階層別研修会

開催日	参加者数	研修内容
令和7年5月29日	207 名	接遇に関する職員全体研修会 (本耶馬溪公民館)
令和7年10月9日	207 名	交通安全講習会 (オンライン)
令和7年12月16日	220 名	人権研修・学習会 (オンライン) 心理的安全性、カスハラ調査報告

8. ボランティア・市民活動センター事業

1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

① ボランティア希望・募集・相談 144 件

② ボランティア登録状況

種別	団体数	団体会員数
団体Vo	130 団体	3,157 名
個人Vo		363 名
計	130 団体	3,520 名

③ ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 2,758 名

④ ボランティア体験月間の取り組み

○ 夏のボランティア体験（実施期間 7～8月）

受入施設数		33カ所
参加者内訳	一般	1名
	大学・専門学校生	12名
	高校生	150名
	小・中学生	2名
参加者合計		165名

○ 夏のボランティア体験月間受入施設交流会

事業趣旨の共有及び受入施設同士のつながりづくりを目的に開催

開催時期	6月
参加施設数	17カ所

○ 冬のボランティア体験月間（12～1月）

受入施設数		14カ所
参加者内訳	一般	1名
	大学・専門学校生	0名
	高校生	16名
	小・中学生	0名
参加者合計		17名

○ 春のボランティア体験月間（3～4月）

受入施設数		21カ所
参加者内訳	一般	1名
	大学・専門学校生	0名
	高校生	119名
	小・中学生	0名
参加者合計		120名

○ 事前オリエンテーション（集合型）

	夏	春	※冬は個別対応
回数	3回	3回	
参加者数	165名	119名	

⑤ ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指して、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

運営委員	10名	学識経験者、ボランティア活動者、当事者団体、地域活動者等で構成
開催回数	2回	9月：令和6年度事業報告、令和7年度事業経過報告、質問・意見交換 3月：令和7年度事業報告、令和8年度事業計画、質問・意見交換

2) ボランティア情報紙の発行

名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	5,700部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

3) ぼらかふえの開催

名称	回数	参加者	開催時期	対象	概要
かふえぶらっと (名称変更)	5回	102名	6月、8月、10月、12月、2月	人とつながりたい方、情報収集・提供をしたい方	気軽にぶらっと集まって、交流を楽しみ、話題提供や情報収集の場となることを目的としている。人と人、人と地域をつなぐ「ぶらっとホーム」のような役割を目指し開催。男塾受講生の活動の場の1つにもなっている。内容：ビニール袋ケース作り、夏のボランティア活動紹介、外国人相談センターとの交流、楽器演奏等

4) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座の開催

	講座・研修名	回数	参加者	開催時期	対象	概要
1	男塾珈琲座談会	1回	15名	6月	男塾受講経験者	男性のボランティア活動への参加促進を目的とし、令和元年より毎年開催。R7年度は、初めて座談会形式とし、受講生同士の交流を主に、主体性をもって活動が広がるよう取り組んだ。
2	地域福祉講座 ～協働から広がる地域づくり～	1回	23名	11月	地域福祉ネットワーク協議会	地域の他団体との協働事例の紹介や他地区との情報交換を行うことで、今後の活動への広がりを持ってもらうように働きかけ。内容：中津青年会議所との共同イベント、グループワーク（交流）
3	ボランティア交流事業 「ボランティアだよ！全員集合！！」	1回	32名	12月	ボランティア団体	ボランティア活動者同士の交流を目的に開催。 内容①新規登録ボランティア団体の紹介 ②コミュニケーション麻雀をとおした交流 ③男塾受講生によるコーヒーの淹れ方ミニ講座 ④交流
4	ボランティア養成講座 「カメラマンボランティア養成講座 初級編」	1回	19名	1月	地域住民	カメラを通して仲間づくりや生きがいづくりをし、地域の福祉活動に関わる人財育成を目的に開催。 講師：中津ボランティアカメラマンの会（NAVCA）

No	講座・研修名	回数	参加者	開催時期	対 象	概 要
5	被災者支援ボランティア講座 「協働減災塾～佐賀関の火災から考える被災者支援～」	1回	42名	3月	被災者・被災地域支援を行う団体・一般市民等	被災者及び被災地支援を軸とした連携・協働体制の構築を目的に開催。 内容①実践報告:大分市社会福祉協議会事務局次長 松村 匡貢氏 ②講演:災害情報支援ポータル 上村 貴広氏 ③グループワーク
6	ボランティア入門講座 「ボランティア はじめよう！」	1回	15名	3月	地域住民	ボランティアを始めたい人等を対象に、心がけ等を知っていただき、安心して地域活動に携わっていただくことを目的に開催。 講師:あそびの工房もくもく屋 田川 雅規氏
7	地域福祉講座 「サロンだよ！全員集合！！さろんど de ふれんど」	1回	33名	3月	サロンお世話役	お世話役の方々に社協主催のサロンとして、他のサロンの方々と交流を深めながら楽しんでいくとともに、それぞれのサロンでも活かせるネタやレクリエーション等の提供を目的に開催。 内容:体操、レクリエーション、交流、軽食
8	福祉ボランティア講座 「遊びの学校～わくわくマイスター養成講座～」	1回	76名	9月・11月	三光～山国地区の地域住民	三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区において、楽しみながら地域で活動できる人材を養成することを目的に、社協で貸し出しているレク用具や手作りレク用具を活用した講座を2地区合同(三光・本耶馬溪と耶馬溪・山国)で開催。

9. その他社協事業

1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の研修、交流を図るための福祉バス「さつき号」の運行事業。

運行回数	延利用者数
121回	3,031人

2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、災害(火災、風水害等)により家屋が損害を受けた世帯に対して、見舞金を支給。

火災 (内訳:全焼 2件)

3) 施設等管理運営事業

	施設名	開館日数	延利用者数
1	中津市教育福祉センター	307日	22,694名
2	耶馬溪介護研修センター	292日	66名
3	すば一く耶馬溪多目的広場	365日	716名
4	山国社会福祉センター	333日	2,510名

10. 各種共催・後援状況、視察受入、協力

1) 行事の共催及び後援状況

共催・後援	月日	内 容	団体等
後援	R7.7.13	不登校を考える講演会	不登校を考える親の会「すこっぷ」
後援	R7.8.3	第1回ユニバーサルたんけん隊	中津市共生社会推進レクリエーション事業実行委員会
後援	R7.8.30	2025年度県北地区福祉のしごと就職フェア	大分県福祉人材センター
後援	R7.8.30	第13回耶馬溪千本づきフェスタ	耶馬溪千本づきフェスタ実行委員会
後援	R7.9.20	吃音カフェ	大分言友会
後援	R7.11.8	第2回中津ユニバーサルたんけん隊 ～ゆったり秋旅！電動カートで本耶馬溪の観光ツアー～	中津市ユニバーサルたんけん隊実行委員会
後援	R7.12.4	第3回中津ユニバーサルたんけん隊～大分県議会傍聴ツアー～	中津市ユニバーサルたんけん隊実行委員会
後援	R7.12.7	New杜の声朗読コンサート「光と影」	朗読サークルNew杜の声
後援	R8.3.15	インクルーシブパネル展&ライブイベント「みて、きいて、ふれるインクルデー」	あつとほうむぶれいす

2) 視察の受入れ、協力状況

	月日	県等	受入先	受入数	視察内容
1	R7.7.4	大分県	豊後高田市社会福祉協議会	2名	組織運営について
2	R7.8.1	大分県	大分市社会福祉協議会	5名	共同募金について
3	R7.11.18	大分県	佐伯市弥生地区民児協・弥生地区社協	24名	ネットワーク協議会の取り組み、立ち上げ等について
4	R8.1.29	長崎県	佐世保市社会福祉協議会、ふくし教育推進委員	4名	中津市社協の福祉教育(わいわい福祉ひろば)について